

今回の担当は

診療所ドクターリレーエッセイ 「いびがわ診療所の今とこれから」



公益社団法人地域医療振興協会 いびがわ診療所 所長 西脇健太郎(医師)

いびがわ診療所は開設から丸2年が過ぎました。当初は旧揖斐厚生病院が移転したことによる医療の谷間を診療所で補完することを目的の一つとして開設されました。しかし、地域医療の事情は刻々と変化し、長きに渡り開業医として地域を支えてくださった先生方のご引退により移行してこられた方々の受入や、急激に進む極端な少子高齢化に伴う課題に対しての取り組みも必要となってきました。まず、小児の発達の検査(WISC-V)を開始しました。発達の検査は複雑な内容で、なかなか一般

のクリニックで行うことは難しく、対象者も多いため、検査の実施まで数カ月の待ちが生じている一方、就学判定の時期に間に合わせる必要がありますので、一定の整備が望まれていました。

高齢者の身体機能維持につながる活動も開始しました。「消炎鎮痛」や「フレイル外来」といった形で、リハビリ職や栄養職も関わりながら身体機能の維持向上を目指し、転倒予防等につながればと考えています。更に進むであろう揖斐川町の少子高齢化を支えるシステムを、できるだけコンパクトにまとめた体制で整えつつ、広大な地域を支えられる仕組みづくりを進めていきたいと思ひます。



▲フレイル外来の様子

お問い合わせ：いびがわ診療所 TEL22-2000

高齢者帯状疱疹予防接種についてのお知らせ

下記の方が公費で予防接種を受けられるのは令和8年3月31日までです。不活化ワクチンを接種の場合、2か月の間隔をあけ2回接種する必要がありますので、希望される方は1月末までに1回目の接種を受けてください。

接種をご希望の方は、「予診票」を発行しますので、必ず揖斐川保健センターまでご連絡ください。

令和7年度の対象者（揖斐川町に住民登録がある該当年齢の希望者）

①今年度中に65・70・75・80・85・90・95歳になる方、100歳以上になる方

65歳（昭和35年4月2日生～昭和36年4月1日生）	85歳（昭和15年4月2日生～昭和16年4月1日生）
70歳（昭和30年4月2日生～昭和31年4月1日生）	90歳（昭和10年4月2日生～昭和11年4月1日生）
75歳（昭和25年4月2日生～昭和26年4月1日生）	95歳（昭和5年4月2日生～昭和6年4月1日生）
80歳（昭和20年4月2日生～昭和21年4月1日生）	100歳以上（大正15年4月1日以前生）

②60歳以上65歳未満の方で、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方（該当される方は、事前に揖斐川保健センターへ申し出てください。）

<注意>過去に「高齢者帯状疱疹予防接種」を受けられた方は対象となりません。

自己負担金：帯状疱疹不活化ワクチン：2か月間隔で2回接種 1回あたり7,000円
 帯状疱疹生ワクチン：1回接種 3,000円
 （医療機関へ直接、お支払いください）

「はたちの献血」キャンペーン

誰かの今をつないでいく。はたちの献血

献血者が減少しがちな冬期において安全な血液製剤を安定的に確保するため、「はたち」を迎える若者を中心として広く県民各層に献血に関する理解と協力を求めるとともに、特に成分献血、400mL献血の継続な推進を図ることを目的とした「はたちの献血」キャンペーンが実施されます。

・期間 令和8年1月1日（木）から2月28日（土）までの2か月間

【お問い合わせ】揖斐川保健センター TEL 23-1511



揖斐川町国民健康保険加入者にお知らせです。

特定健診のかわりに人間ドックを受けた方へ費用の一部助成を行っています。

対象者

- ・人間ドックの受診日において、揖斐川町国民健康保険の被保険者（75歳未満）
- ・人間ドックを受診しようとする日の属する年の年度末において、40歳以上
- ・申請日において、納期限が到来した国民健康保険税を完納している世帯であること
- ・当該年度に特定健康診査を受診していないこと
- ・人間ドック受診の結果、特定保健指導の対象となった場合に当該指導を受けることに同意すること
- ・特定健康診査、特定保健指導および町の実施する保健事業に健診結果が活用されることに同意すること

補助金額：受診費用の1/2（上限2万円）

必要書類

- ・人間ドックにかかる検査結果通知書
- ・人間ドック受診費用の領収書
- ・振込先が分かるもの

申請先：揖斐川保健センター（上南方165-1）

【お問い合わせ】 揖斐川保健センター TEL23-1511 住民生活課 TEL22-2111

申請はお早めに!!
(受診から3か月以内)



今回の物産販売を通して、多くの町民の方々が揖斐川町の商品を心待ちにしてくれていること、揖斐川町と芽室町が友好都市であることを知ってくれていることを改めて感じました。（芽室町魅力創造課 領取）



▲FACEBOOKでは芽室町の様々な情報を発信中!

さらに、今年7月に揖斐川町を訪問した芽室町の小学生も揖斐川町ブースに立ち、揖斐川町PR大使として、来場者へ揖斐川町の魅力をお伝えしました。

揖斐川町の皆さんこんにちは。芽室町では11月23日(日)にJAめむろ本部事務所敷地内で「めむろ大感謝祭2025」が開催され、揖斐川町の特産品販売、友好都市PRを実施しました!当日は揖斐川町からも関係者の方々にお越しいただき、特産品である柿やお米、お茶などの販売を行いました。柿を求めて長蛇の列ができ、開始2時間で完売となる大盛況のブースでした!



▲大盛況の揖斐川町ブース



▲PRする小学生たち

「めむろ大感謝祭2025開催」

めむろだよ



芽室町民にちょっと聞いてみた

*** ~北海道と岐阜 お雑煮の違い~ ***

揖斐川町周辺のお雑煮といえば、すまし汁に三つ葉やかつお節の、あのシンプルでほっとする味が定番ですよ。

一方、友好都市・北海道芽室町のお雑煮は、すまし汁は同じでも、鶏肉、ごぼう、にんじん、油揚げが入った具たくさんタイプ。

食文化ってその土地らしさが出るものですが、友好都市の文化を知るとちょっと距離が縮まった感じがします。ちなみに、北海道ではおせちは12月31日の夜から食べ始めるそうですよ。

谷汲地域では、雑煮のすまし汁に砂糖を入れるのかなんとか。。。



ちょっとひとやすみ